

世界は”孤独“という皮膜におおわれていた……。あなたに出会えるまでは

江口洋介 安藤政信 宮崎あおい 石田ゆり子 松田龍平




この世界は偽物だ。

フェイク



Synesthesia Divine Thriller

出演：江口洋介 安藤政信 宮崎あおい・石田ゆり子 松田龍平
監督：松浦 徹 脚本：坂元裕二 撮影監督：高間賢治 (J.S.C.) 音楽：nido 主題歌：「gerbera」竹仲絵里 エグゼクティブ・プロデューサー：松下順一
製作：関 雅彦・十武内 健・山崎一彦 プロデューサー：堀越謙三 共同プロデューサー：西村大志・十旗 啓祐 アシスタントプロデューサー：大野敦子
製作：アートポート+松竹+ニューロスベース+関西テレビ放送 配給：アートポート+ニューロスベース 支店：文化庁 支店：文化庁  www.gimmy-heaven.com

貴史

“君を見つけたんだ。
ビー玉の目をした君を”

新介

“何もかもが嘘のようだ。
もっと早くおまえに
会いたかった”

あなたには
このマーキングが
何に見えますか？

みんなが同じように見えてると思ったら、
それは違うのかもしれない——
もっと知りたかったらここへアクセス！

www.gimmy-heaven.com



麻里

“この世界は
無人島だって、思ってた。
でもやつと会えた”

亜季

“世界中の謎を
全部把握してから
死にたい”

「僕は一度死んだ
ことがあるんです。
3時間42分間」

ピカソ

共感覚とは……

この映画の重要なキーワードになっている“共感覚”とは、五感のうち、ひとつの感覚に付随して、別の感覚が引き起こされること、視覚と聴覚、視覚と触覚、嗅覚と聴覚が運動して動かしてしまうことを指している。たとえば、美味しいチキンを食べると手に「とんがった形」を感じる人。また、鋭く甲高い声を聞くと赤く光るのしみを見るなど、さまざまな例が挙げられる。稀有な感受性という点からか、芸術家には、意外にこの“共感覚”の持ち主が多いと言われている。古くは、日本の松尾芭蕉をはじめ、画家のカンディンスキーや音楽家のスクリャービン、小説家のウラジミール・ナボコフなどがそうである。たとえば、ナボコフは自伝「記憶よ、語れ」の中で、「英語のアルファベットのaは、長い風雪に耐えた家の黒々とした色。gはタイヤの色。mはひだのよったピンクのフランネルの布を思わせる」と共感覚を語っている。“共感覚”を実感しているのは25,000人にひとりの割合で存在するとされている。

他人は、ぼくが見てるように世界が見えているのだろうか。それは、誰にも理解できない絶対孤独の恐怖——

誰もが互いに理解し合える運命の相手を必死で求めている。運命がその相手を用意してくれることも、あるいは神様のいたずらですれ違ってしてしまうことも…。自分が感じたり、見たものが、他人と違う感覚で脳にインプットされてしまう、いわゆる“共感覚者”が、同じ感性をもつ人と出会う確率は、25,000分の1——。しかしそんな相手と出会ってしまったら…。さらにはその出会いがもたらす、悲劇。連続殺人、残された記号、戦慄の絆、そしてその真実。神の目(＝デヴァイン)だけが、その真実を知り、そして運命への扉へと導いていく——。そこが荒蕪とした世界の果ての場所であろうと、出会ってしまったふたりは、孤独の果てに愛の繋がりその地に見出すのだった…。

いま日本映画が考える最高のキャスティング！

キャストは主演に『戦国自衛隊 1549』の江口洋介、『亡国のイージス』の安藤政信、『NANA』の宮崎あおい、『四日間の奇蹟』の石田ゆり子、『恋の門』の松田龍平という日本映画を代表する俳優陣。さらには小島聖、鳥肌実、北見敏之らがバイ・プレイヤーとして脇を固めている。

監督はこの映画が長篇映画デビューとなる松浦徹。脚本は『世界の中心で、愛をさけぶ』の坂元裕二、撮影は『ホテル・ハイビスカス』の高間賢治。そして音楽はnidoが手がけ(nidoはDragon Ashの古谷建志、スケボーキングの上杉俊佑、映像クリエイターの吉川寛一、俳優でありサックス奏者でもある武田真治によって2003年結成されたバンド形式のプロジェクト・ユニット)、さらには竹仲絵里によるアコースティックな主題歌「gerbera」が、透明感のある歌声とともにラストを盛り上げていく。



出演：江口洋介 安藤政信 宮崎あおい・小島聖 鳥肌実 小木茂光 北見敏之・石田ゆり子 松田龍平
監督：松浦徹 脚本：坂元裕二 撮影：高間賢治 (J.S.C.) 音楽：nido+安部 酒 サウンドトラック：nido motion picture soundtrack 主題歌：竹仲絵里「gerbera」
エグゼクティブ・プロデューサー：松下順一 製作：岡 雅彦+武内 健+山崎一彦 プロデューサー：堀越謙三 共同プロデューサー：西村大志+旗 啓祐 アシスタントプロデューサー：大野敦子 ラインプロデューサー：飯田康之
照明：上保正道 美術：安藤 篤 録音：井家真紀夫 助監督：崎田憲一 編集：金子尚樹 記録：岩倉みほ子 整音：山本逸美 効果：佐々木英世 衣裳：宮島尊弘 ヘアメイク：高比良法子+内野晶子 制作担当：新井 聡
製作：アートポート+松竹+関西テレビ放送+ユウロスペース 配給：アートポート+ユウロスペース 支援：文化庁 2004年/日本映画/2時間01分/35mm/カラー/1:1.85 www.gimmy-heaven.com

06年1月14日(土)、
衝撃のロードショー！

1月14日
新館
オープン
ユーロスペース
渋谷・文化村前交差点左折
03-3461-0211
www.eurospace.co.jp

新宿武蔵野館
JR新宿駅中央東口 三越裏 武蔵野ビル3F
03-3354-5670 各回入替・整理券制
www.musashino-k.jp/cinema/

1月中旬より公開！
池袋シネマサンシャイン
池袋駅東口・サンシャイン60階通り
03-3982-6101
レイトショー(上映時間は劇場へお問い合わせ下さい)

前売鑑賞券1400円絶賛発売中！ 劇場窓口でお買い求めの方「ギミー・ヘブン」ポストカードをプレゼント 劇場窓口、有名プレイガイド、チケットぴあ等でお求めください。